

R8年度 国語科シラバス

学科	機械・電気	学年	1	教科名	国語	科目名 [単位数]	現代の国語[2]	授業形態	講義	
教科書・副教材等		50大修館/現国050-902 新編現代の国語 改訂版								
目 標		国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにする。加えて論理構造の把握や、それを用いて効果的に伝達を行うこと、その資質の向上を図る態度を育む。						評価の観点		
評価観点の規準		観点①知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。				観点①知識・技能	観点②思考・判断・表現	観点③主体的に学習に取り組む態度	観点④主体的に学習に取り組む態度
		観点②思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。							
		観点③主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。							
学期	週	単元名	学習内容	到達度目標	○	○	○	○	○	
1	1	ことばをひらく	この春、なにを始めよう	随筆を読み、高校生活で取り組みたいことについて作文することができる。	○		○		○	
	2		コミュニケーションは技術だ	随筆の読み方を理解することができる。	○			○	○	
	3	日本語を使いこなす	声を意識しよう/ことばを選んで話そう	他者と話すための基本的な事項を習得することができる。	○	○			○	
	4		正しく書こう/正しく読もう	話し言葉と書き言葉の違い、主述のねじれ、接続表現等について注意し、正確な文章を書くことができる。	○		○	○	○	
	5		文を整え、文をつなぐ		○		○		○	
	6	中間考査			○	○	○	○	○	
	7	わかりやすく説明する	説明のしかた	段落間の論理関係を読み取ることができる。	○			○	○	
	8		ナンバーワンかオンリーワンか/生きることと食べるの意味	接続詞に注目して論旨を捉えることができる。	○			○	○	
	9		絵や写真を説明しよう	図を文章で説明する際の留意点を理解し、自らの言葉で説明することができる。	○		○		○	
	10		実用文を読もう①一葉の説明書	情報を取捨選択して、実用的な文章を読むことができる。	○			○	○	
	11		伝わるように話そう	聞き手を引き込む話の展開について理解し、実践することができる。	○	○			○	
	12		聞き取りのレッスン/聞き上手になろう	必要に応じてメモを取りながら正確に聞き取り、傾聴の方法を実践することができる。	○	○			○	
	13	期末考査			○	○	○	○	○	
2	14	聞く力・話す力を育む	ショートスピーチをしよう	聞き手を引き込む話の展開について理解し、スピーチを実践することができる。	○	○			○	
	15		聞いたことを工夫してまとめよう	収集した情報を適切にまとめることができる。	○	○			○	
	16		論理の展開	対比、具体と抽象などの論理構造を理解できる。	○			○	○	
	17		水の東西	対比関係や、具体と抽象の関係を読み取り、文章の要旨をつかむことができる。	○			○	○	
	18		極北へ	紹介したい本について情報を収集し、スピーチとして効果的に紹介することができる。	○		○		○	
	19		本のPOPを作ろう	紹介したい本の特徴を生かしたPOPを作ることができる。	○		○		○	
	20	中間考査			○	○	○	○	○	
	21	伝え合いのレッスン	対話のレッスン	対話の基礎となる事項を理解することができる。	○	○			○	
	22		話し合って結論を出そう	目的に応じた話し合いを行うことができる。	○	○			○	
	23		議事録をまとめよう	議事録の目的や形式を理解し、作成することができる。	○		○		○	
24	説得力を高める	意見文の基礎を学ぼう	接続詞を用いた説得的な文章の構成を理解することができる。	○		○		○		
25		反対意見を想定した意見文を書こう	反対意見を想定したうえで意見文を書くことができる。	○		○		○		
26		ミニ討論会をしよう	ディベートの方法について理解し、実践することができる。	○	○			○		
27	期末考査			○	○	○	○	○		
3	28	説得力を高める	自分の意見を持つために	評論の要旨を捉えることができる。	○			○	○	
	29		情報の吟味/情報の力関係	クリティカルリーディングについて理解し、図画を交えた文章の要旨を捉えることができる。	○			○	○	
	30		どこもかしこもプラスチック!	グラフと主張との関連を考えながら読むことができる。	○			○	○	
	31		レポートを書こう	レポートの書き方を理解し、ICT機器を用いてレポートを作成することができる。	○		○		○	
	32		メディアとの付き合い方	評論の要旨を捉えることができる。	○			○	○	
	33	他者を動かす	案内状を書こう	案内状の書き方を理解し、実践することができる。	○		○		○	
	34	社会に目を向けて	何のために「働く」のか	評論の要旨を捉えることができる。	○			○	○	
	35	学年末考査			○	○	○	○	○	

評価の方法	・授業観察 ・プリント ・成果物 ・振り返りシート ・ペーパーテスト ・中間考査 ・期末考査 ・学年末考査
-------	---

公民科シラバス

学科	機械・電気	学年	1	教科名	公民	科目名 【単位数】	公共(2)	授業形態	講義、演習	
教科書・副教材等		7実教 公共007-902 公共新訂版 共につくる未来								
目 標		現代社会への関心を高め、いかに生きるかを主体的に考えることの大切さを自覚させる。身近な地域と社会の関わりについて理解を深める。						評価の観点		
評価観点の規準		観点①知識・技能		内容を理解し知識として定着できたか、身につけた知識を活用できたか。				観点①知識・技能		
		観点②思考・判断・表現		自分で思考し判断して答えを導き出したか、自分の意見を実現することができたか。				観点②思考・判断・表現		
		観点③主体的に学習に取り組む態度		よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしているか。				観点③主体的に学習に取り組む態度		
学期	週	単元名	学習内容				到達度目標			
1	1	第1部 公共の原	1青年期とは 2自己形成の課題(1) 3自己形成の課題(2) 4職業生活と社会参加 5伝統・文化と私たち				・青年期の意義と特徴、青年期における発達課題について学習する。 ・働くことの意義を理解し、職業観を形成する。			
	2	第1章 社会を作る私たち					○ ○ ○			
	3	第2章 人間としてよく生きる	1古代ギリシアの人間観 2科学と人間 3自由の実現 4社会を作る人間				・自由について、社会参画や公共性の確立について思索した思想家の主張を学習する。			
	4	第3章 他者とともに生きる	1人間と幸福 2公正な社会をめざして				・不平等や格差の問題に対して社会的不正の是正についての思想家の主張を学習する。			
	5	第4章 民主社会の倫理	1人間の尊厳と平等 2自由・権利と責任・義務				・人間の尊厳と平等の実現についてその意義、現代の動向を学習する。			
	6	定期考査	中間考査				1学期前半の学習内容を確認する。			
	7	第5章 民主国家における基本原理	1民主政治の成立 2民主政治の基本原則 3民主政治のしくみと課題 4世界の主な政治制度				・民主政治の誕生とその基本原理について学習する。 ・基本的な人権、国民主権、権力分立について、内容と意義を学習する。 ・世界の政治体制(議院内閣制・大統領制)について、理解する。			
	8						○ ○ ○			
	9	第2部 よりよい社会の形成に参加する私たち	1日本国憲法の成立 2日本国憲法の基本的性格				・日本国憲法の特徴を理解する。			
	10	第1章 日本国憲法の基本的性格	3自由に生きる権利 4平等に生きる権利 5社会権と参政権・請求権 6新しい人権 7人権の広がりや公共の福祉 8平和主義とわが国の安全 9こんにちの防衛問題				・日本国憲法の基本原理(国民主権、基本的人権の尊重、平和主義)について学習する。 ・日本国憲法で保障されている権利について理解する。			
	11						○ ○ ○			
	12						○ ○ ○			
	13	定期考査	期末考査及び補充学習				1学期後半の学習内容を確認する。			
2	14	第2章 日本の政治機構と政治参加	1政治機構と国会 2行政権と行政機能の拡大 3公正な裁判の保障 4地方自治と住民福祉 5政党政治 6選挙制度 7世論と政治参加				・三権(国会、内閣、裁判所)相互の関係と、それぞれの仕組み、役割を理解する。 ・政治参加の手段としての選挙制度の仕組みや課題について学習する。 ・政党の役割を学習する。 ・地方自治の仕組みと課題について学習する。 ・政治参加の様々な方法について考える。			
	15						○ ○ ○			
	16						○ ○ ○			
	17	第2部 現代の経済社会と国民生活	1経済主体と経済活動の意義 2経済社会の変容 3市場のしくみ 4市場の失敗 5現代の企業 6国民所得 7経済成長と国民の福祉 8金融の役割 9日本銀行の役割 10財政の役割と租税 11日本の財政の課題				・現代の経済社会における企業、政府の果たしている役割を学習する。 ・租税、金融、財政の仕組みや役割について学習する。			
	18						○ ○ ○			
	19						○ ○ ○			
	20	定期考査	中間考査				2学期前半の学習内容を確認する。			
	21						○ ○ ○			
	22	第2章 日本経済の特質と国民生活	1戦後日本経済の成長と課題 2転機に立つ日本経済 3経済社会の変化と中小企業 4農業と食料問題 5消費者問題 6公害の防止と環境保全 7労働問題と労働者の権利 8こんにちの労働問題 9社会保障の役割 10社会保障制度の課題				・日本経済の歩みと課題について学習する。 ・産業構造の変化、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全などについて学び、経済主体としての企業や個人の社会的責任について考える。 ・消費者問題、労働問題、社会保障問題などを自分の生活とむすびつけながら考える			
	23						○ ○ ○			
24						○ ○ ○				
25						○ ○ ○				
26						○ ○ ○				
27	定期考査	期末考査及び補充学習				2学期後半の学習内容を確認する。				
3	28	第3部 国際社会と人類の課題	1国際社会と国際法 2国際連合と国際協力 3こんにちの国際政治 4人種・民族問題 5軍拡競争から軍縮へ 6国際平和と日本の役割				・今日の国際社会の構造、国際法の意義と役割を学習する。 ・国際連合の組織と役割を学習する。 ・国際政治の流れを理解し、国際社会における日本や個人の果たす役割や責任を考える。			
	29	第1章 国際政治の動向と課題					○ ○ ○			
	30						○ ○ ○			
	31	第2章 国際経済の動向と課題	1貿易と国際収支 2外国為替市場のしくみ 3第二次世界大戦後の国際経済 4地域的経済統合の進展 5国際経済のつながりと課題 6発展途上国の諸課題と日本の役割				・貿易の意義と国際収支の現状、為替相場の仕組みなど、国際経済の基礎的事項について、理解する。 ・国際的な貧困や格差など世界の課題を知り、解決に向けて考察する。			
	32						○ ○ ○			
	33	第3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	持続可能な社会をめざして				・現代社会の諸問題について課題を設定して考察、解決の方策を考えまとめる。			
	34						○ ○ ○			
35	定期考査	学年末考査及び補充学習				3学期の学習内容を確認する。				

評価の方法	【授業等】 ・ワークシート、課題、発表、Q&A 【定期考査】 ・テストの設問
-------	---

保健体育科シラバス

学科	機械 電気	学年	1	教科名	保健体育	科目名 [単位数]	体育 [1]	担当名	山田浩史
教科書・副教材等	現代高等保健体育 改訂版(50大修館 保体050-901)						授業形態	演習 講義	
目 標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて、継続的に運動ができる資質や能力を育てる。							評価の観点	
評価観点の規準	観点①知識・技能	自分や仲間の動きを観察して課題を見つけることが、学習の成果を高めるということを理解できる。					観点①知識・技能		
	観点②思考・判断・表現	これまで学んだ知識や技能を活用して課題解決に有効な方法を選択し、計画を立てることができる。							
	観点③主体的に学習に取り組む態度	自分の役割に主体的に取り組み、練習や実践、仲間との話し合いに積極的に参加することができる。							
学期	週	単元名	学習内容	到達度目標					
1	1	体づくり運動	オリエンテーション及び体づくり運動	教科の意義、1年間を通じて、授業に対する注意事項を理解する。集団で行動するために必要な集団行動を身に付ける。体力の現状を把握し体力要素の意味を理解して、体力改善に生かす。スポーツテストの種目練習、その体力要素に関する体力を高める運動を通じて、各体力の要素を高める。	○		○		
	2				○				
	3				○				
	4				○				
	5	定期考査		1学期中間考査		○	○		
	6	フレッシュテニス	フレッシュテニス	ネット型のゲームの特性を理解し、相手の動きや球種に応じた作戦を立て、シングルス及びダブルスのゲームができるようにする。ダブルスに関わる技能としては相手の球種に対応するためのお互いの位置取り方などパートナーとの連携などでの自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。個人的技能としては、フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サービス、レシーブなどを身に付けるようにする。	○		○		
	7				○				
	8				○				
	9				○				
	10	球技大会		フレッシュテニスで技能、戦術、加えてチームへの協力、大会運営にも積極的に参加する。		○	○		
	11	体育理論	スポーツの技術と戦術	スポーツにおける技術と技能の違い、クローズドスキルとオープンスキルの違い、戦術・作戦・戦略の違いについて理解し、説明することができる。	○		○		
	12				○				
	13	定期考査		1学期期末考査		○	○		
2	14	体づくり運動	オリエンテーションおよび体づくり運動	体育に関する意義、注意事項を理解する。長期休業後において、体ほぐし運動で、体の調子を整えるようにする。	○		○		
	15				○				
	16	ダンス	創作ダンス	現代的なリズムに乗ってリズムカルに身体を動かし、身体の解放感を味わい仲間と交流することができるようにする。	○		○		
	17				○				
	18	マット運動	前転 開脚前転 伸膝前転 倒立前転	自己の能力に応じて技を選択、習得し、それらの技を組み合わせて連続技とする。また、技を改善したり、技を新たに加えたりして、演技の内容を豊かにする。	○		○		
	19				○				
	20	(定期考査)		2学期中間考査		○	○		
	21	バドミントン	基本技能 応用技能 審判法 ゲーム	ラケットやシャトルを使うネット型ゲームの特性を理解し、ハイクリア、スマッシュ、ドロップ、ドライブ、ヘアピンなどのフライトを使い分け、相手の動きやフライトに対応したシングルス試合展開ができるようにする。	○		○		
	22				○				
	23				○				
24	○								
25	体育理論	生涯スポーツの見方・考え方	社会の変化にともなうスポーツの役割と楽しみ方の変化を理解し、ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方について、基礎的な事項を理解している。	○		○			
26				○					
27	定期考査		2学期期末考査		○	○			
3	28	体づくり運動	オリエンテーションおよび体づくり運動	体育に関する意義、注意事項を理解する。長期休業後において、体ほぐし運動で、体の調子を整えることができるようにする。	○		○		
	29				○				
	30	バスケットボール	個人技術 オフェンス技術 つなぎの技術 ディフェンス技術 ゲーム	ゴール型のゲームの特性を理解し、集団技能や個人的技能を活用して学習段階に応じて作戦を立て、ゲームをする。集団的技能としては、速攻、セットオフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かす。個人的技能としては、パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイントなどを身につける。	○		○		
	31				○				
	32				○				
	33				○				
	34	サッカー	フットサル	手を使わずボールを扱いゴールにシュートして得点することを競うゴール型のゲームの特性を理解し個人的技能であるパス、トラッピング、シュート、ドリブルなどを身につけてゲームに生かすことができるようにする。	○		○		
35	定期考査		学年末考査		○	○			

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・授業での活動状況</li> <li>・自作課題プリントの取り組み状況</li> <li>・定期考査</li> </ul>
-------	---

保健体育科シラバス

学科	機械 電気	学年	1	教科名	保健体育	科目名 [単位数]	保健 [1]	授業形態	講義 演習	評価の観点			
教科書・副教材等		現代高等保健体育 改訂版(50大修館 保体050-901)									観点①知識・技能	観点②思考・判断・表現	観点③主体的に学習に取り組む態度
目標		健康問題や社会の変化とともに変わってきた「健康」のとりえ方を学ぶとともに、現代の健康問題とその対策について理解を深めることができる。											
評価観点の規準		観点①知識・技能	健康水準及び疾病構造の変化には、科学技術の発展及び生活様式や労働形態を含む社会の状況がかかわっていることについて理解している。										
		観点②思考・判断・表現	健康の考え方について、健康にかかわる原則や概念をもとに整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。										
		観点③主体的に学習に取り組む態度	健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。										
学期	週	単元名	学習内容	到達度目標									
1	1	現代社会と健康	健康の考え方と成り立ち	さまざまな健康の考え方や健康を成り立たせている要因について例を挙げて説明する。									
	2		私たちの健康のすがた	わが国における健康水準の変化、わが国における健康問題の変化について理解し、説明することができる。									
	3		生活習慣病とその予防と回復	生活習慣病について呼称の由来や病例を説明することができ、また、生活習慣病の予防について理解し、説明することができる。									
	4												
	5		定期考査										
	6		がんの原因と予防	がんの主な治療法や緩和ケア、がん検診の普及や社会的な対策について説明できる。									
	7												
	8		運動と健康	健康から見た運動の意義、健康づくりのための運動習慣の形成について理解し、説明することができる。									
	9		運動と健康	健康的な食生活の重要性と意義、健康的な食生活習慣の形成について理解し、説明することができる。									
	10		休養・睡眠と健康	健康からみた休養・睡眠の意義、健康からみたよりよい休養・睡眠のとり方について理解し、説明することができる。									
	11		喫煙と健康	喫煙の健康影響、喫煙開始の要因と依存性、喫煙に対する日本や世界の対策について理解し、説明することができる。									
	12												
	13		定期考査										
2	14	現代社会と健康	飲酒と健康	飲酒による健康への短期的および長期的影響、飲酒の開始要因と社会問題、飲酒の健康被害を防ぐさまざまな対策について理解し、説明することができる。									
	15		薬物乱用と健康	薬物乱用や薬物依存による健康への悪影響、薬物開始要因と社会問題、薬物乱用防止による健康被害を防ぐさまざまな対策について理解し、説明することができる。									
	16												
	17		精神疾患の特徴	精神疾患の発病の要因と主な症状、現代社会の精神保健の課題を挙げることができる。また予防や早期発見の方法、適切な治療や回復のための社会環境について説明できる。									
	18		精神疾患の予防										
	19		精神疾患からの回復										
	20		現代の感染症	感染症、新たに注目される感染症、再び問題となっている感染症について理解し、説明することができる。									
	21		感染症の予防	感染症予防の原則、現代の感染症についての社会と個人に分けた対策について理解し、説明することができる。									
	22		性感染症・エイズとその予防	性感染症・エイズとは何か、性感染症・エイズについての個人と社会に分けた予防対策について理解し、説明することができる。									
	23		健康に関する意思決定・行動選択	意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因、健康的な意志決定・行動選択を実現する工夫について理解し、説明することができる。									
	24		健康に関する環境づくり										
25	定期考査												
3	28	安全な社会生活	事故の現状と発生要因	事故の現状とその要因について理解し、説明することができる。									
	29		安全な社会形成	安全な社会づくりのための法的な整備と施設・設備の充実、車の安全性の向上について理解し、説明することができる。									
	30		交通における安全	安全な運転のための資質、交通事故の責任と補償について理解し、説明することができる。									
	31		応急手当の意義とその基本	応急手当の意義やその手順について理解し、説明することができる。									
	32		日常的な応急手当	けがの応急手当、熱中症の応急手当について理解し、説明することができる。									
	33		心配蘇生法	心肺蘇生法の原理と意義、心肺蘇生法の各手順について理解し、説明することができる。									
	34		定期考査										
	35												

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席状況</li> <li>授業での活動状況</li> <li>自作課題プリントの取り組み状況</li> <li>定期考査</li> </ul>
-------	---

英語科シラバス

学科	機械・電気	学年	1	教科名	外国語	科目名 [単位数]	英語コミュニケーション I [2]	授業形態	講義・演習
教科書・副教材等		2東書 C I / 002-901 「All Aboard! English Communication I Revised」							
目 標		中学校既習事項の定着を図りながら新たな語法を習得し、身近で興味関心の高い話題を通して基礎的な英語コミュニケーション能力の育成を目指す。						評価の観点	
評価観点の規準		観点①知識・技能	単語や表現を覚え、言語活動を行うことによって、実際の意思疎通ができる技能を身につける。				観点①知識・技能		
		観点②思考・判断・表現	語彙・表現の習得と多様な言語活動を通して、実際の意思疎通が可能となる技能の育成を図る。				観点②思考・判断・表現		
		観点③主体的に学習に取り組む態度	質問に対して適切に応答するとともに、十分な準備のもとで課題提出やプレゼンテーション等の発表活動を行うことができる。				観点③主体的に学習に取り組む態度		
学期	週	単元名	学習内容	到達度目標					
1	1	Warm-Up, Pre-Lesson	アルファベット、教室で使う表現 be動詞、一般動詞	アルファベットを発音し、正しく綴ることができる。教室で使う表現を学び、be動詞と一般動詞を使って正しく表現できる。	○	○	○		
	2	Lesson 1	Breakfast around the World①	簡単な表現で身のまわりのことについて英語で紹介できる。	○	○	○		
	3		Breakfast around the World②	過去表現を理解し、簡単な過去の出来事について表現できる。	○	○	○		
	4	Lesson 2	Australia's Cute Quokkas①	自分の好きな動物や物事の紹介を英語で行える。相手の紹介発表についての話が概ね理解できる。	○	○	○		
	5		Australia's Cute Quokkas②	進行形の表現を理解し、それを使って簡単な表現ができる。	○	○	○		
	6	定期考査	中間考査及び補充学習	1学期前半の学習内容を確認する。	○	○	○		
	7	Lesson 3	Life with Spade①	三陸鉄道の運転士の話を読み、可能と未来の助動詞を使って簡単な表現ができる。	○	○	○		
	8		Life with Spade②	助動詞can, will の用法について理解し、それを使って簡単な表現ができる。	○	○	○		
	9	Lesson 4	A miracle mirror①	英語のメールの形式について理解し、紹介したい場所について簡単な英語で表現できる。	○	○	○		
	10		A miracle mirror②	不定詞の用法について理解し、3種類の用法を使って表現できる。	○	○	○		
	11	Communication 1&2	自己紹介・道案内	道案内の会話表現を学び、その聞き取りができる。	○	○	○		
	12	文法のまとめ 1	文の種類と基本文型	文の種類・基本文型・代名詞などを復習する。1学期に学んだ文法事項の演習を行う。	○	○	○		
	13	定期考査	期末考査及び補充学習	1学期後半の学習内容を確認する。	○	○	○		
2	14	演習	1学期の復習	1学期中に学習した重要語句・基礎文法事項を確認し、練習する。	○	○	○		
	15	Lesson 5	A Dream Engine①	将来の夢や目標を表す表現を理解し、自分の夢や目標について簡単な英語で表現できる。	○	○	○		
	16		A Dream Engine②	動名詞の用法について理解し、使用された英文の意味が理解できる。	○	○	○		
	17	Lesson 6	A Funny Picture from the Edo Period①	歌川国芳の浮世絵と現代マンガの関連性についてのスピーチを理解し、簡単なスピーチができる。	○	○	○		
	18		A Funny Picture from the Edo Period②	受け身表現について理解し、簡単な受け身文をつくることができる。	○	○	○		
	19	文法のまとめ 2	受け身表現・動名詞など	例文を用いて受け身と動名詞の表現を確認し、それぞれの用法を練習する。	○	○	○		
	20	定期考査	中間考査及び補充学習	2学期前半の学習内容を確認する。	○	○	○		
	21	Reading 1	Short stories in English	場面や登場人物の心情を理解し、正しいリズムやイントネーションで音読できる。	○	○	○		
	22	Lesson 7	A Diary of Hope①	アンネ・フランクの話を読み、関心のある人物を簡単な英語で紹介できる。	○	○	○		
	23		A Diary of Hope②	比較表現について理解し、基本的な単語を用いて表現できる。	○	○	○		
24	Lesson 8	A Door to a New Life①	人の生活を豊かにするロボットについて考え、その内容を提案できる。	○	○	○			
25		A Door to a New Life②	現在完了について3種の意味を理解し、それを用いた簡単な表現ができる。	○	○	○			
26	Communication 3	フリーマーケットで買い物	乗り換え案内の会話表現を学び、その聞き取りが概ねできる。	○	○	○			
27	定期考査	期末考査及び補充学習	2学期後半の学習内容を確認する。	○	○	○			
3	28	Lesson 9	Ghosts in the Oceans①	地球環境を取り巻く問題を理解し、環境を守るためにできることを考えて、意見を述べるができる。	○	○	○		
	29		Ghosts in the Oceans②	名詞を後ろから説明する分詞について理解し、文中で使われている表現の意味を概ねつかむことができる。	○	○	○		
	30	Lesson 10	Pigs from across the Sea①	沖縄の戦争に関係した英文を読んで理解し、世界各地を簡単な英語で短く説明することができる。	○	○	○		
	31		Pigs from across the Sea②	関係代名詞(主格)の用法を理解し、先行詞による使い分けを行いながら簡単な英文を書くことができる。	○	○	○		
	32	Reading 2	Mujina①	物語文を読み、内容の流れに沿って大切な情報を適切に読み取ることができる。	○	○	○		
	33		Mujina②	場面や登場人物の心情を理解し、正しいリズムやイントネーションで音読することができる。	○	○	○		
	34	文法のまとめ 3	関係代名詞、比較など	3学期に学習した文法事項について、文法問題を通してそれぞれの用法を確認する。	○	○	○		
35	定期考査	学年末考査及び補充学習	3学期の学習内容を確認する。	○	○	○			
評価の方法		以下の項目により、3観点で評価する。 【授業等】 ・ワークシートによるクイズ、小テスト、リスニングテスト、課題、プレゼンテーション発表 【定期考査】 ・テストの設問、リスニングテスト、インタビューテスト							

家庭総合シラバス

学科	機械・電気	学年	1	教科名	家庭	科目名 [単位数]	家庭総合 [2単位]	授業形態	講義・実習・実験	評価の観点			
教科書・副教材等		2東書 家総 002-901 「家庭総合」自立・共生・創造									観点①知識・技能	観点②思考・判断・表現	観点③主体的に学習に取り組む態度
目 標		人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解と、それらに関係する技能を体験的・総合的に身につけるようにする。 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 社会の様々な人々と協働しながら、生活文化を継承し、家庭や地域の生活の向上を図ろうとする実践的な態度を養う。											
評価観点の規準		観点①知識・技能 生活を主体的に営むための知識と、それに係る技能を身につけている。 観点②思考・判断・表現 生涯を見通して、家庭や地域社会における課題を設定し、解決する力を身につけている。 観点③主体的に学習に取り組む態度 社会の様々な人と協働し、課題の解決に主体的に取り組んだり、家庭や社会生活の向上を図るために実践しようとしている。											
学期	週	単元名	学習内容		到達度目標								
1	1	第1章 生涯を見通す	1 人生を展望する		・ライフステージと発達課題について考えさせ、未来の自分についてプランを立てさせる。								
	2		2 目標を持って生きる		・意思決定と生活資源について学ばせ、どのようなライフコースを歩むか考えさせる。								
	3				・様々なライフスタイルを知り、どのような選択をするか、意見交換をしながら考えさせる。								
	4				・収入と支出のバランスを考えさせ、金銭を管理してマネジメントすることを学ばせる。								
	5				・自立の意味を学ばせ、共生社会の実現に向けた課題や持続可能な社会について考えさせる。								
	6		中間考査及び補充学習		1学期前半の学習内容を確認する。								
	7	第2章 青年期の課題と自立	1 人生を作る		・青年期の発達課題を学ばせ、自己実現に向けた自己理解を深めさせる。								
	8		2 家族・家庭を見つめる		・「家族」について学ばせ、現在の日本社会における現状について理解させる。								
	9				・家族関係をつくる2つの力について学ばせ、家族間で生じる問題について学習させる。								
	10		3 これからの家庭生活と社会		・家庭の機能について考えさせ、家庭の機能の社会化について学ばせる。								
	11				・家族にかかわる法律について学ばせる。								
	12				・家族間の問題でも周囲に相談できることを学ばせ、その相談窓口について調べさせる。								
	13				期末考査及び補充学習		1学期後半の学習内容を確認する。						
2	14	第3章 子供と共に育つ	1 命を育む		・子どもの時期の大切さについて学ばせ、どのようなかかわり方が必要かを学習させる。								
	15		2 子どもの育つ力を知る		・妊娠、出産と胎児の発育について学ばせる。								
	16		3 子どもと関わる		・乳児の成長と発達について学ばせ、乳児の自己表現について理解させる。								
	17				・幼児の成長と発達について学ばせ、幼児が社会性を獲得していく過程を学習させる。								
	18		4 子どもとの触れ合いから学ぶ		・「保育」について学ばせ、どのように乳幼児に関わるかを学習させる。								
	19	5 これからの保育環境		・子ども発達において、いかに遊びが大切であるかを学習させる。									
	20		中間考査及び補充学習		2学期前半の学習内容を確認する。								
	21	第4章 超高齢社会を共に生きる	1 超高齢・大衆長寿社会を迎えて		・高齢期とはどのような時期であるかを考えさせ、様々な過ごし方があることを理解させる。								
	22		2 高齢期の心身の特徴		・高齢者の心身の変化の特徴を理解させ、高齢者が自立した生活をする方法を学ばせる。								
	23				・高齢期の生活課題を理解させ、高齢者福祉についてもその理念と制度について理解させる。								
	24		3 高齢者の自立を考える		・介護保険制度のしくみを理解させ、その必要性と課題について考えさせる。								
	25				・高齢社会の問題について理解させ、地域社会が果たす役割について考えさせる。								
	26		4 これからの超高齢社会		・人には感じ方や価値観の違いがあることを話し合わせ、その違いについて理解させる。								
	27				期末考査及び補充学習		2学期後半の学習内容を確認する。						
3	28	第5章 共に生き、共に支える	1 私たちの生活と福祉		・生活を支える福祉や社会的支援について学ばせ、4つのセーフティネットを理解させる。								
	29		2 社会保障の考え方		・社会保障制度について理解させる。								
	30		3 共に生きる		・共生社会の理念について理解させ、ともに支え合うことの重要性について考えさせる。								
	31				・人類が地球環境に影響を及ぼしていることを学ばせ、SDGsの取り組みを理解させる。								
	32				・個人のライフスタイルの変容について学ばせ、環境問題に対する解決策を考えさせる。								
	33				・環境問題に関する様々な考え方を理解させ、偏りのない視点で問題を見る姿勢を学ばせる。								
	34				・男女の格差や多様性について学習し、日本の現状について学ばせる。								
	35	定期考査		期末考査及び補充学習		3学期の学習内容を確認する。							

評価の方法

以下の項目により、3観点で評価する。  
 【授業等】  
 ・ワークシート、課題、プレゼンテーション発表、Q&A  
 【定期考査】  
 ・テストの設問

電気科シラバス

学科	電気	学年	1	教科名	工業	科目名 [単位数]	工業技術基礎 [2単位]	授業形態	実習、講義	
教科書・副教材等		7 実教 工業701 工業技術基礎、自作プリント								
目 標		工業に関する基礎的な技術を実験や実習によって体験し、各分野における工業技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解し、広い視野を養い、工業の発展を図る意欲的な態度を身に付ける。						評価の観点		
評価観点の規準		観点①知識・技能		工業の発展と環境・資源などの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理することができる。				観点①知識・技能	観点②思考・判断・表現	観点③主体的に学習に取り組む態度
		観点②思考・判断・表現		広い視野から自ら思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現することができる。						
		観点③主体的に学習に取り組む態度		工業技術についてその改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶことができる。						
学期	週	単元名	学習内容		到達度目標					
1	1	工業技術基礎を学にあたって	「工業技術基礎」で学ぶにあたって		基礎的な技術を習得させる意義を理解する。					
	2		事故防止と安全作業の心がまえ		事故防止に努め、安全に作業を行う態度を身に付ける。					
	3		実験・実習報告書の作成		レポートのまとめ方を習得する。					
	4	関数電卓の基本操作と計算方法	関数電卓の操作・計算方法		関数電卓の操作方法および四則演算・関数計算方法などを理解する。					
	5		関数電卓による各種計算		練習問題を計算し、関数電卓操作や計算方法に理解する。					
	6	電子回路の基礎と製作	LEDポケットライトの製作		ポケットライトを製作しながら、LED点灯回路について学び、ハンダ付けや実装などを学ぶ。					
	7		電子ホタルの製作		電子ホタル(LED点滅回路)を製作しながら、電子部品の働きや回路、実装について学ぶ。					
	8	定期考査	1学期中間考査		これまで学習した内容をテストで確認する。					
	9	関数電卓による計算技術	問題練習		四則、関数、実務の計算手法を理解する。					
	10		問題練習		四則、関数、実務の計算手法を理解する。					
	11		模擬試験		模擬試験を実施し、計算技能、理解度などを確認する。					
	12	電気計測器の取り扱い	電圧計・電流計の取り扱いと測定法		電圧計・電流計の取り扱いおよび測定法を学ぶ。					
	13	定期考査	1学期期末考査		これまで学習した内容をテストで確認する。					
2	14	オームの法則実験	電圧-電流および抵抗-電流特性の測定		電圧-電流及び抵抗-電流特性を測定し、オームの法則を確認する。					
	15		レポートの作成		オームの法則実験の測定結果をまとめる。					
	16	テスターの製作	製作手順と材料の確認と回路構成について		製作手順および材料を確認し、回路構成について学ぶ。					
	17		製作		各種パーツを取り付け、ハンダ付ける。					
	18		動作確認および取り扱い方法について		電源(電圧源)や抵抗等の部品を用いて、正しく動作するかを確認し、取り扱い方法を理解する。					
	19		レポートの作成		テスターの製作および測定結果をまとめる。					
	20	定期考査	2学期中間考査		これまで学習した内容をテストで確認する。					
	21	オシロスコープの取り扱い	オシロスコープによる測定		操作方法を理解し、電圧等の波形を観測する。					
	22		レポートの作成		オシロスコープの取り扱いと測定結果をまとめる。					
	23	ポータブル蛍光灯の製作	回路構成と基板の製作(エッチング)		DC/AC昇圧型蛍光灯回路について学び、制御基板をエッチング処理して製作する。					
	24		製作①(基板製作)		各種パーツを取り付け、ハンダ付ける。					
	25		製作②(配線・組立)		各種部品を組み込み配線して組み立てる。					
	26		レポートの作成		ポータブル蛍光灯の製作および製作手順をまとめる。					
	27	定期考査	2学期期末考査		これまで学習した内容をテストで確認する。					
3	28	デジタル回路の基礎	基本論理回路について		AND,OR,NOTなどの論理回路について入出力実験を行い、動作確認する。					
	29		組み合わせ回路について		基本論理回路を組み合わせたゲート回路について入出力実験を行い、動作を確認する。					
	30		レポートの作成		デジタル回路の基礎実験結果をまとめる。					
	31	パソコン活用	インターネットの活用		インターネットの正しい利用方法を理解する。					
	32		ワープロソフトの活用		基本的な文書作成の手法を理解する。					
	33		表計算ソフトの活用		基本的な表計算の手法を理解する。					
	34		レポートの作成		パソコン活用についてまとめる。					
	35	定期考査	学年末考査		これまで学習した内容をテストで確認する。					

評価の方法	実習状況 ノート レポート 定期考査
-------	-----------------------------

電気科シラバス

学科	電気	学年	1	教科名	工業	科目名 [単位数]	工業情報数理 [2]	授業形態	講義・演習			
教科書・副教材等		7実教 工業007-901 工業情報数理 新訂版										
目 標		1. 社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解する。 2. 情報技術に関する知識と技術を習得する。 3. 工業の各分野において情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を身につける。							評価の観点			
評価観点の規準		観点①(知識・技能)	情報技術に関する基礎的な知識を理解し、活用できる技術を身につけている。							観点① 知識・技能	観点② 思考・判断・表現	観点③ 主体的に学習に取り組む態度
		観点②(思考・判断・表現)	諸問題について自ら考え、判断して身につけた知識や技能を活用して解決法を表現できる。									
		観点③(主体的に学習に取り組む態度)	情報技術に関する基礎的な知識や技術の習得に意欲があり、かつ、創造的・実践的な態度を身につけている。									
学期	週	単元名	学習内容		到達度目標							
1	1	第1章 産業社会と情報技術	1. 情報と情報社会		情報の特徴と情報社会について理解させる。		○	○	○			
	2		2. 情報システムとデータの活用		産業社会でのコンピュータの活用と大量データの活用について理解させる。		○	○	○			
	3		3. 情報社会の権利とモラル		情報社会における、権利やモラルについて理解させる。		○	○	○			
	4	第2章 ソフトウェアやサービスの利用	4. セキュリティ管理		コンピュータ活用における危機管理について理解させる。		○	○	○			
	5		1. コンピュータの基本操作		コンピュータの基本な操作について理解させる。		○	○	○			
	6		2. ソフトウェアの基礎 3. アプリケーションソフトウェア		OSの役割やアプリケーションソフトの基本的な操作を理解させる。		○	○	○			
	7	定期考査	第1学期中間考査		既習事項について理解の度合を確認する。		○	○	○			
	8	第3章 プログラミングの基礎	1. プログラム言語		プログラム言語の種類やプログラム作成手順を理解させる。		○	○	○			
	9		2. プログラムのつくり方		プログラム作成手順を理解させる。		○	○	○			
	10		3. 流れ図とアルゴリズム		流れ図と基本的なアルゴリズムの考え方を理解させる。		○	○	○			
	11	第5章 Cによるプログラミング	1. Cの特徴		Cの特徴を理解させる。		○	○	○			
	12		2. 四則計算のプログラム		プログラムにおける、データ型やデータの入出力方法を理解させる。		○	○	○			
	13	定期考査	第1学期期末考査		既習事項について理解の度合を確認する。		○	○	○			
2	14	第5章 Cによるプログラミング	3. 選択処理		選択処理を行うif文とswitch文について理解させる。		○	○	○			
	15		4. 繰り返し処理		for文とwhile文、do～while文について理解させる。		○	○	○			
	16		5. 配列		配列の宣言や使用方法を理解させる。		○	○	○			
	17	第6章 デジタル化とハードウェア	6. 関数		関数のつくり方や標準関数の使用方法を理解させる。		○	○	○			
	18		定期考査	第2学期中間考査		既習事項について理解の度合を確認する。		○	○	○		
	19		1. 数値・文字の表し方		コンピュータで用いる数値と文字の表し方について理解させる。		○	○	○			
	20	第7章 ネットワーク	2. 論理回路の基礎		コンピュータで演算や制御を行う論理回路の基礎を理解させる。		○	○	○			
	21		3. 情報のデジタル化		音声、静止画像、動画などの情報の表し方とデジタル化について理解させる。		○	○	○			
	22		4. 処理装置の構成と動作		コンピュータの構成と処理装置の仕組みと動作を理解させる。		○	○	○			
	23	第8章 コンピュータ制御	1. ネットワークの構成		コンピュータネットワークの特徴や種類を理解させる。		○	○	○			
24	2. ネットワークの通信技術		ネットワークの伝送制御方式、インターネット接続、プロトコルについて理解させる。		○	○	○					
25	1. コンピュータ制御の概要 2. 制御プログラミング		コンピュータ制御の概要を理解させる。		○	○	○					
26	第9章 情報デザインを活用した問題の発見・解決	3. 組み込み技術		組み込み技術の概要と特徴を理解させる。		○	○	○				
27		定期考査	第2学期期末考査		既習事項について理解の度合を確認する。		○	○	○			
3	28	第9章 情報デザインを活用した問題の発見・解決	1. 問題の発見・解決		問題の発見・解決の流れと内容を理解させる。		○	○	○			
	29		2. 情報デザイン		情報収集法や受け手に合わせたデザインについて理解させる。		○	○	○			
	30		3. プレゼンテーションと問題解決の評価		既習事項を踏まえたプレゼンテーションについて理解させる。		○	○	○			
	31	"		プレゼンテーションを実践させる。		○	○	○				
	32	第10章 数値処理	1. 単位と数値処理		国際的に統一されて使われている単位について理解させる。		○	○	○			
	33		2. 実験と数値処理		いろいろな事象で得られた結果の数値処理を理解させる。		○	○	○			
	34		3. モデル化と数値シミュレーション		工業に関する事象をモデル化してシミュレーションする数値処理を理解させる。		○	○	○			
35	定期考査	学年末考査		既習事項について理解の度合を確認する。		○	○	○				
評価の方法		・3観点評価法を踏まえて①出席状況②授業での活動状況③定期考査の内容を総合的に判断する。										